

単元名 計算のじゅんじょ

配当時間 1時間

単元の目標 (1) 乗法に関して成り立つ性質について理解し、乗法の順思考を組み合わせた関係を、1つの式に表すことができる。  
 (2) 乗法の順思考を組み合わせた関係を、1つの式に表す方法を考えることができる。  
 (3) 乗法の結合法則を問題解決の場で活用しようとする。

## 標準的な展開例

03040207\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 乗法の結合法則を理解する。[p. 20・p. 21]</p> <p>○だいちさんとひなたさんの2人の考え方を、それぞれ式に書く。          ○だいちさんの考え方を表した式の計算の仕方を説明する          ○本時の学習課題をつかむ。          ★まとめてかける考え方を1つの式にかこう。          ○ひなたさんの考え方を1つの式に書く方法を考える。</p> <p>○乗法の結合法則についてまとめる。</p> <p>○「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2通りの考え方があることを具体的にとらえさせる中で、結合法則が成り立つことを理解させる。</li> <li>・2通りの考え方にまとめる。</li> <li>・（ ）を付けると先に計算するという意味になることを指導する。</li> <li>・どちらの式も3, 2, 4の順に3つの数字が並んでいることに着目させ、計算する順序を変えても答えが同じになることを理解させる</li> <li>・<math>4 \times 2 \times 5</math>のような式は、<math>2 \times 5</math>を先に計算すると10になり、その後の計算が簡単にできることを伝える。</li> </ul> <p>【評】（ ）の付いたかけ算の問題を解く活動を通して、「知識・技能」を評価する。</p>

## 【 備 考 】

本単元では、乗法の結合法則  $a \times b \times c = a \times (b \times c)$  が成り立つことを理解し、これを活用できるようにすることが大切である。本単元では具体的な場面に当てはめ、2通りの考え方から答えを求めさせることで結合法則を理解させる。式は児童が気付いた式を自由に発表させた後、教師が2通りの式にまとめていくとよい。また、前単元で学習した、 $a \times (b \times c)$  に気付かせ、関連付けて指導するとよい。